

HSK

昭和48年1月13日第三種郵便物承認 令和2年2月10日（毎月10日発行）HSK通巻 第575号
 編集人 帯広市公園東町3丁目9-1 一般社団法人帯広身体障害者福祉協会 TEL 0155-23-0050 「絆」第98号
 発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 定価50円



絆

No.98

【編集人】

帯広市公園東町3丁目9番地
 帯広市グリーンプラザ
 一般社団法人
 帯広身体障害者福祉協会
 会長 田中 利和
 TEL 23-0050
 FAX 23-1452
 『絆』第98号 定価50円
 (会費に含む)
 令和2年2月

令和2年新年交流会のご報告

1月26日（日）ホテル日航ノースランド帯広において、令和2年新年交流会が開催され、55名の会員の皆様が参加されました。

はじめに主催者として田中利和会長より日常生活や社会生活において障害者の活動が制約され障害者に対する差別がある今日、法に言う合理的配慮を強く求めて社会的障壁を取り除くことが重要課題と捉え、地道に一人でも多くの事業者や市民を巻き込み合理的配慮の言わんとするとところを啓発啓蒙していかなければと考えます。会員の皆さまと一緒に運動展開を進めていきたいとの挨拶がありました。



主催者挨拶 田中 利和会長



また来賓として、帯広市長 米沢則寿様、帯広市議会議員 有城正憲様、全国肢体不自由児者父母の会連合会会長 清水誠一様代理 道議会議員 清水拓也様、帯広心身障害者（児）育成会会長 畑中三岐子様、北海道身体障害者福祉協会常務理事 泉司様をお招きし激励のお言葉をいただきました。その後、前半のアトラクションとして帯広北高等学校チアリーディング部による「チア&ダンス」をご披露いただきました。引き続き後半のアトラクションでは、西帯広分会の阿保武男さんと細川恵子さんによる四川変面踊りをご披露いただきました。大歓声となりました。次に会員の皆様によるカラオケのど自慢大会となりました。限られた時間の中で会員相互の親睦をより一層深めたことと思います。最後に、加藤節義副会長による一本締めで閉会となりました。



帯広市議会議員 有城 正憲様



帯広市長 米沢 則寿様



帯広心身障害者（児）育成会会長 畑中 三岐子様



道議会議員 清水 拓也様



一本締め 加藤副会長



乾杯の音頭 成田副会長



北海道身体障害者福祉協会常務理事 泉 司様



新年交流会スナップ集

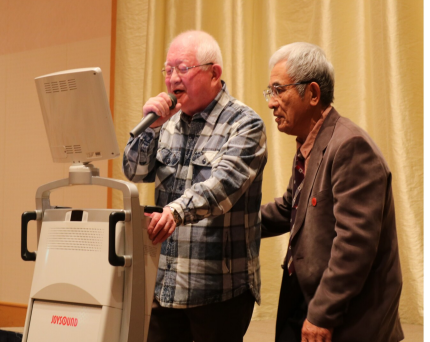
令和2年 新年交流会

撮影者 飯見智博さん(大会役員)・久保美穂さん(西条支部役員)



日時 令和2年1月26日(日) 12時から
場所 ホテル日航ノースランド帯広 2階 ノースランドホール
帯広市西2条南13丁目1 TEL 0155-24-1234

一般社団法人帯広身体障害者福祉協会
〒080-0847 帯広市公園東町3丁目9 帯広市グリーンプラザ
TEL 0155-23-0050 FAX 0155-23-1452



第4回フロアカーリング練習会

第4回フロアカーリング練習を下記日程にて行います。

- 日時：3月15日(日)
- 時間：8時45分集合・9時開始
- 場所：帯広市グリーンプラザ1階集会室
- 申込：分会の方・・・分会長へ
個人会員の方・・・事務局へ
- 締切：3月6日(金)まで
- 事務局：電話 23-0050・FAX 23-1452



各種ご案内
 いよいよ年度末となりまます。会員の皆さまと楽しんでまいりました様々な行事も残り僅かです。陽気も春めいてまいりましたので、たくさんの方の皆さまがご参加されますよう、ご案内いたします。

婦人部会 定期会合のご案内

婦人部会定期会合を次のとおり開催することになりましたので、お知らせいたします。

○日時・・・令和2年4月17日(金) 午後1時00分～午後5時00分(予定)

○場所・・・帯広市グリーンプラザ1階B・C会議室(帯広市公園東町3丁目9)

○議題・・・①報告事項 令和元年度事業経過報告、会計収支決算報告

②審議事項 令和2年度事業計画(案)、会計収支予算(案)

③その他

当日はお菓子、お茶等をご用意いたします。

なお、準備の都合上、出席人数を確認いたしますので、出席・欠席を**4月7日(火)**までに分会の婦人部役員に、個人会員の方は事務局(電話 23-0050・FAX 23-1452)までにご連絡くださいますようお願いいたします。

事務局より大切なお知らせ

会費納入のお願い

☆平成30年・令和元年度会費が未納の方は、**3月19日(木)**までに事務局まで納入していただきますようお願いいたします。または、お手元に届いている郵便局の振込用紙にてお振込をお願いいたします。

分会・部会活動助成金実績報告書提出のお願い

☆3月31日をもって令和元年度が終了しますので、4月に入りましたら「分会・部会活動助成金実績報告書」の提出を事務局までお願いいたします。

ジパング倶楽部の更新について

☆ジパング倶楽部更新予定の方は、**更新日前**までに必ず事務局にてお手続きをお願いいたします。



大関行政書士勉強会について

●「絆」12月号に続き、平成25年度から公益目的支出計画が完了する令和4年度までの状況について説明したい。編集後記にも関連記事を掲載している。
当協会は平成25年3月31日に北海道の認可を得て移行手続きを終える。社団から一般社団となる。

移行（社団から一社へ）の条件

- ① 所有する財産を全額返す（寄付等）
- ② 毎年、寄付。
- ③ 公益事業に毎年赤字で返す。当協会の対応。公益目的支出計画の策定が必要。

当協会の公益目的支出計画の状況

平成25年3月31日道の認可を得、社団から一般社団に移行となる。所有財産額…26,210,608円この額を平成25年度から令和4年度の10年間で消費する。
計画の推移…平成25年度、26年度は計画のとおり実行できず。道からも指示を受ける。3年目からは順調。平成29年度は350万余りの赤字。大いに結構。令和元年度以降4年度までに約1000万余りの赤字化で計画を推進する。年平均256万円の支出。

当協会の予算執行等

全道の中でも活発に活動している協会である。監督官庁の道の法人課は決算書を見ない。公益目的支出計画のみである。ひとつ留意してほしいのは、予算額と決算額の乖離である。基本は決算を参考に次年度予算を編成してほしい。このため、四半期ごとの執行状況の把握が重要。また、予算額の執行において当初と見込み違いがある場合、補正措置が必要。理事会の承認によって。総会には報告だけ。

財産目録

この中で運営経費として支出できないのは「期末手当引当預金」。それ以外の預金、例えば、定額預金（帯広郵便局…500万円）を運営資金で使用も可能。理事会の承認が必要である。

令和4年度の正味財産額の見込み

あと4年間で10,235,434円の消費が必要。当然、正味財産額も減る。今後の推移から判断して令和4年度の公益目的支出計画上では800万円位残るのではと判断している。

令和4年以降の在り方

公益目的支出計画期間が終了し、道の審査を終えれば、何ら制約を受けない。公益目的支出計画期間にかなりの正味財産を消費しており、運営も厳しく、節約が必要となる。新たな事業の考えは難しい。心して考えないとならない。

編集後記

「奴雁（どがん）」

○令和2年の当初から、余り聞きなれないテーマを題材とし恐縮ですが、ふと見た書物にあった含蓄のある言葉であるので紹介したい。

○奴雁（どがん）とは「学問のすすめ」の著者である「福沢諭吉」が述べている。

○「雁の群れが一心に餌を実施ついでいばんでいるときに、一羽が首を上げて周辺を見渡し難に備える」ことがその意味だそうだ。

○最近の新型コロナウイルスは連日、朝から晩までの報道で少々食傷気味であるが、避けて通れない状況だ。また、社会構造に目を向けると2025年問題がまじかに迫っている。

○2025年（令和7年度）に75才を迎える団塊の世代（昭和22年～24年）が総人口の18%（約2200万人）を占める。2005年（平成12年度）には10%（約1200万人）である。20年間の増が急激であり、当然、医療費、年金などの支払いが増になる。

○当協会に目を向けると、帯広身体障害者福祉協会は平成25年度に社団から一般社団に移行した。移行の条件として公益目的支出計画を策定し、実施事業で平成25年度時点の資産の消費が求められ、事業の完了年度は令和4年度である。

○公益目的支出計画の内容について「絆」12月号及び2月号で掲載している。

○一般社団が生き延びるには、公益目的支出計画の完了はさることながら、その後の協会運営の在り方である。計画に伴い、手持ち資産を消費し、現行行っていた行事等で参加負担を求めていく等大きな課題が待ち構えている。

○協会としても会員の皆様に逐次情報を提供し、公益目的支出計画をどう乗り切っていくか考えていく必要性を痛感している。

○これから迎える公益目的支出計画の完了に向けて、お互いに耳が痛いことも言わざる場面が多々あります。これも、長い歴史のある帯広身体障害者福祉協会が存続するためであり、会員の皆様のご支援をよろしく願います。



M・M 記

第2回ゴルフカート交流会結果報告

1月13日(月・祝)、帯広市グリーンプラザ集会室にて参加者19名による第2回ゴルフカート交流会が開催されました。ゴルフカート用具の貸し出しが困難になったことから、賛助会員の鳥畑勝行さんに用具一式を制作していただきました事をご報告いたします。とても素晴らしい仕上がりとなっております。今後とも楽しみにしていただきたいと思います。

優勝 宮田 勝信さん 46打
 準優勝 加藤 武夫さん 49打
 第3位 林 文雄さん 50打
 (※結果は男女混合)



始球式



第3回フロアカーリング交流会結果報告

2月16日(日)、帯広市グリーンプラザ集会室にて参加者20名による第3回フロアカーリング交流会が開催されました。

結果は次のとおりとなります。

順位	選手名
優勝	宮田勝信さん・本郷孝蔵さん
準優勝	林文雄さん・佐々木政幸さん
第3位	加藤節義さん・林義博さん・森山雅昭さん



育成会・フロアカーリング教室

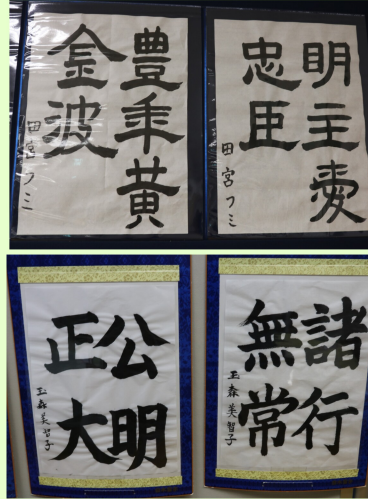


2月15日(土)、帯広の森体育館第2・第3体育室において、帯広心身障害者(児)育成会が主催する心身に障害を持つ児童・生徒とその家族を対象としたフロアカーリング教室が開催されました。総勢20名が参加しました。当協会からは、道具2セットを持ち込み、田中会長をはじめ3名の会員の方が指導にあたりました。子供たちに父母も加わり、基本的なルールやマナーについて学んだ後、各チームに別れゲームを行い、楽しいひと時を過ごしました。



障害者の作品展示会

一月14日(火)～23日(木)まで帯広市保健福祉センター
一階交流ルームにて第13回障害者作品展示会が開催され
ました。当協会の会員の皆さまが作成されました素
敵な作品が数多く展示されておりましたので一部ご紹
介いたします。



帯広市障害者生活支援センターからのお知らせ

★ 令和2年度 障害者生活支援センター機能強化事業

募集内容・・・在宅身体障害者の健康増進や機能維持を目指すトレーニング事業（定員など詳細は問い合わせください。）※初参加者は事前に見学が必要となります。

対象者・・・身体障害者手帳を持ち、就労などは困難だが自力でトレーニングができる18歳以上の市内在住者
曜 日・・・月曜（午前・午後）、火曜（午後）、木曜（午前・午後）、金曜（午前）

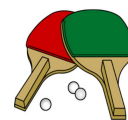
★ 令和2年度 障害者生活支援センター基礎的事業（前期）受講生募集

募集内容・・・身体機能の維持、回復を図ること、社会参加の促進を目的に書道、陶芸、卓球、革工芸の各講座について、令和2年度前期（4月～9月・全16回）の受講生を募集します。初めての人は募集前の見学が可能。詳細は問い合わせください。

対象者・・・身体障害者手帳を持つ18歳以上の市内在住者

◎募集内容◎

講 座	実施曜日 時 間	定 員
書 道	火曜日 10時～12時	15名
陶 芸	火曜日 13時30分～15時30分	15名
卓 球	水曜日 10時～12時	20名
革工芸	水曜日 13時30分～15時30分	15名



※先着順、いずれも初めての人が優先となります。

※材料費など実費となります。

募集期間・・・令和2年2月25日（火）～3月6日（金）先着15～20名

申込方法・・・電話かファックス、または直接、障害者生活支援センターにお申込みください。

申込先・・・帯広市東8条南13丁目1番地 帯広市保健福祉センター内障害者生活支援センター

電話 25-9701・FAX 25-9703